

不眠症状 専門医受診を

病院の 実力

九州・山口編

今回は睡眠障害を取り上げる。一覧表には、2022年の睡眠障害に関する検査や治療件数などの実績を示した。

睡眠障害は、不眠症、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、代表的な過眠症であるナルコレプシーなど約70種類に分かれている。

閉塞性睡眠時無呼吸症候群は、口や鼻と肺をつなぐ気道が睡眠中にふさがる疾患で、夜間の激しいびきや一時的に呼吸が止まる症状が特徴だ。日中に強い眠気や疲労感を伴うため、仕事や勉強の

睡眠障害

チーム医療で栄養指導も



霧ヶ丘つた病院(北九州市)院長 津田徹

では、睡眠時無呼吸症候群の患者が毎月約1300人通院する。津田院長は「チーム医療」で、睡眠の質を守り、健康的な生活につなげてもらえよう努めている」と語る。

受診のきっかけは、配偶者からのいびきの指摘や、体の疲れがとれない休養不足が多い。7割は肥満が原因で、セルフチェックの目安となるのが、40秒以上の首回りや、20歳の時と比べて10kg以上の体重増加などだ。

無呼吸になると血中の酸素飽和度が下がり、心拍数が増えるため、心臓に負担がかかる。津田院長は「一晩に数百回もエベレストのベースキャンプに登り下りしているようなものだ」と説明する。

切り札となるのが、CPAP治療。保険適用されると、機器のレンタル料などは月額5000円前後(3割負担の場合)。

効率低下や、居眠り運転による交通事故を招く恐れもある。国内で900万人以上に中等度以上の症状があるとされ、放置すると高血圧や糖尿病などのリスクも高くなる。

診断のためには、終夜睡眠ポリグラフィ検査(PSG)が使われる。まずは自宅で眠らせている間の酸素飽和度などを測る簡易検査を行う。無呼吸や低呼吸の回数が多い場合は、医療機関に泊まって脳波や睡眠の深さを計測する精密検査を行うことが一般的だ。

軽症の場合は「マウスピース治療」、中等症以上の場合には、鼻に装着したマスクから空気を送り込んで気道を確保する「CPAP治療」が中心で、国内で約60万人が受けている。

病院の実力「睡眠障害」 医療機関別2022年治療実績 (読売新聞調べ)

医療機関名	閉塞性睡眠時無呼吸症候群 (人)	終夜睡眠ポリグラフィの 精密検査 (件)	CPAP治療 (人)	マウスピース治療 (人)	常勤の専門医、歯科専門医 (人)(23年5月現在)
山口県					
ささお歯科	61	0	0	60	1
福岡県					
福岡浦添ク	550	1054	150	101	3
霧ヶ丘つた	385	475	1873	85	1
久留米大	200	120	180	20	3
有吉祐睡眠ク	120	151	715	18	1
産業医大	115	72	258	26	1
福岡大	98	93	60	102	2
産業医大若松	32	2	10	0	0
つやま歯科・口腔外科医院	21	0	0	33	1
久留米大医療セ	1	0	0	0	1
長崎県					
井上	273	342	935	68	1
鹿児島県					
鹿児島厚生連	214	358	43	25	1
かごしま高岡	170	197	1088	0	1
ながはまク	83	10	533	21	1

「セ」はセンター、「ク」はクリニック。

全国の調査結果は16日の「安心設計」面に掲載しました。